

城西大学

1 所在地、交通

〒350-0295 坂戸市けやき台1-1 TEL 049-286-2233

東武越生線川角駅から徒歩10分

ホームページ <http://www.josai.ac.jp>

2 学長名 森本 雍憲

3 設置者 (学)城西大学 (理事長：水田 宗子)

4 学部・学科、入学定員 (人)

	学部名	学科名	入学定員
大 学	現代政策学部	社会経済システム学科	250
	経済学部	経済学科	300
	経営学部	マネジメント総合学科	500
	理学部	数学科	80
			化学科
		小計	
	薬学部	薬学科	250
		薬科学科	50
		医療栄養学科	100
		小計	
計		1,610	

	研究科名	専攻	入学定員
大 学	経済学研究科	経済政策専攻	10
	経営学研究科	ビジネス・イノベーション専攻	15
	理学研究科	数学専攻	15
		物質科学専攻	12
		小計	
院	薬学研究科	薬学専攻	24
		医療薬学専攻	24
		医療栄養学専攻	20
	小計		68
計		120	

5 沿革

- ・昭和40年 城西大学開学（経済学部経済学科、理学部数学科・化学科）
- ・昭和46年 経済学部経営学科設置
- ・昭和48年 薬学部薬学科・製薬学科設置
- ・昭和52年 大学院薬学研究科薬学専攻修士課程設置
- ・昭和53年 大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程設置
- ・昭和54年 大学院薬学研究科薬学専攻博士後期課程設置
- ・昭和58年 城西大学女子短期大学部開学
- ・平成2年 別科設置
- ・平成10年 大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程設置
大学院理学研究科数学専攻修士課程設置
- ・平成13年 薬学部医療栄養学科設置

- ・平成 15 年 大学院経営学研究科ビジネス・イノベーション専攻修士課程設置
- ・平成 16 年 大学院理学研究科物質科学専攻修士課程設置
経営学部マネジメント総合学科設置
- ・平成 17 年 大学院薬学研究科医療栄養学専攻修士課程設置
- ・平成 18 年 現代政策学部社会経済システム学科設置
薬学部薬学科（6 年制）設置 薬科学科（4 年制）設置

6 建学の精神

昭和 40 年 4 月に、総合大学として城西大学を開学した。

学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。立派な人間によってのみ、立派な社会が作れるのだから、現世のために、後世のために、国家社会の重荷に耐えられる人材の教育を天職として、挙学その責に任じたいと考え、この大学を創設したのである。

優れた研究者で識見の高い教育家を教授陣に迎え、その智と和を一体とした熱意ある指導のもとに、高き理想を持ち、真理と正義にひたむきで、英知と人間愛と勇氣に充ち、精神的推進力を持った現下社会の要求する有用な人材の育成を目指して、特色ある学風を創り、国家社会の発展に寄与したいと念願している。

大学はまた、われわれが日々生活をともにしている自然並びに社会に関する基礎的な理論とその歴史的な発展の諸法則を科学的に研究するとともに、実社会において、その応用能力を発揮するための思考力と実践力を身につけることを主眼として学生の教育に当たっている。

7 特 色

・現代政策学部

これからの日本社会は、公共性と市場効率の両立を実現する必要がある。

本学部は、〈公共政策コース〉、〈医療福祉経済コース〉、〈ビジネス法コース〉、〈地域イノベーションコース〉の 4 つのコースを設置し、公共性と市場効率が今後ますます問題となる領域における職業人を養成する。

具体的には、法律や制度（法学）、経済の動き（経済学）、社会の構造（社会学）、組織のあり方（経営学）を組み合わせ、日本の〈社会経済システム〉が見える（分析できる）「能力」を養成するとともに、職業人として現実と関わっていくための「マインド（心構え）」と「ライセンス（資格）」を形成することを目的としている。

・経済学部

我が国の経済が置かれている今日の困難な国際環境の下において、経済の専門知識を身につけ、産業社会現象を本質的に理解するとともに、理論を実践に応用する能力を養う必要がある。

この目標の達成のために、次の二点に力を注いでいる。第一に、理論的研究とその実践的な応用の観点から、適切なカリキュラム編成に留意している。第二に、教員と学生の緊密な人間的接触を特に重視している。

・経営学部

本学部は、企業家精神《アントレプレナーシップ》をもった、21 世紀の新しい社会と産業を創造できる人間の育成を目指している。公認会計士、税理士、システム・エンジニア、公務員、ベンチャー経営者、福祉 NPO アドミニストレーター、健康増進や体力づくりのスペシャリストなど、マネジメントのテクノロジストが将来目標である。具体的には、企業、環境、行政、健康をキーワードに 4 つのコースを設置して、新時代の要請に答えている。

有用な人材育成に向けた教育方針とあわせて、実践力を育てるための目標〈ミニマムスタンダード〉を設定し、簿記・TOEIC・情報処理活用能力に一定レベルの資格取得・実力養成も図っている。

・理学部

数学科と化学科の両学科が置かれている。数学はそれ自体が重要な研究対象であるが、その応用は、科学技術は勿論、産業経済の各分野にわたり、数学を専門とする人々の活動範囲も、科学技術や教育関係以外にも次第に拡大されつつある。

化学は物質の特性を扱う学問分野であるから、その理論は、各種資源の発見・開発・生産・再利用など幅広い分野で活用される。また、産業の発展に伴う廃棄物の増大による公害の処理の面にも活かされる。このような社会の要求に応えられる人材の養成を目的としている。

・薬学部

近年、医療の世界では薬物治療が高度化・複雑化する一方で、食品による栄養治療の必要性も急激に高まり、食品・化粧品・医療品に高い安全性が求められている。

そのため、「栄養学に知識を持った薬剤師」「薬学の知識を持った管理栄養士」「生活者の視点から食品・化粧品・医療品の安全性を守る技術者」が求められている。

本学部では、日本で唯一、管理栄養士を養成する医療栄養学科が設置されている特性を活かし、最先端の薬学・栄養学を学び、21世紀の医療・福祉を担う薬剤師および管理栄養士、医療産業で活躍する薬科学技術者の育成をめざすことを目的としている。